

はじめに

「いつかはマイホームが欲しい」と願う方は多いのではないのでしょうか。

昨今の住宅市場の悪化により、2010年度はこれまでにない、住宅購入に対しての政府の優遇制度があります。マイホーム購入を検討されている方にとっては、決断を急ぐ最大の理由になるかもしれません。

しかし、優遇制度があるからといって決断を急いでしまうと、夢にまで見たマイホーム購入が、「本当に夢だったらよかったのに……」と思うような失敗をしてしまうかもしれません。

何を隠そう、実は私もマイホーム購入に失敗した経験がある一人です。

数年前の話になりますが、私は当時住んでいた京都にマイホームを購入して、2年後に

東京へ引っ越すことになりました。まだ20代だったので、当然住宅ローンを利用して購入していたため、東京での生活にかかるお金にプラスして、毎月口座から十数万円が引き落とされていきました。

幸い実家から譲り受けた土地の上に住居を建てたため、それほど大きな借入額ではなかったのですが、ローンの支払いが重くのしかかることが何度かありました。

空き家になっていると住宅の痛みが激しいこともあり、何度か他人に貸すことも検討しましたが、結局その後子どもが生まれたこともあり、現在は妻と子どもが生活しています。

私の失敗の原因は、まさに「家賃を払うくらいならローンで購入したほうがいい」と思い、住宅購入を決断したことです。結婚したばかりで、今後のライフプランはまったく何も考えていなかったにもかかわらず、数千万円という借金を背負ってしまいました。

その後、転職、出産といったイベントが続き、これからは子どもの教育費と老後の資金準備が必要になります。

私は、自分の失敗から住宅購入においては、ライフプランをきちんと計画することや購入するタイミングが大切だということを実感しました。

住宅購入を検討しはじめると、ローンの借入額や金利について、書籍や雑誌でいろいろと調べられる方は多いと思います。確かに、ローンの利用方法によっては、支払利息が何百万円も違うので、とても重要なことです。

しかし、住宅購入はライフプランにおいては、ひとつのイベントに過ぎないのです。ですから、老後までのライフプランを漠然とでも把握した上で、住宅購入を検討する必要があります。

この本では、これまでの私のファイナンシャルプランナーとしての経験、またプライベートでの失敗を踏まえて、

・今が住宅を購入するタイミングなのかを迷っている人

- ・自分にとっての理想のマイホームはどういうものなのかを知りたい人
 - ・いくらまで住宅ローンを利用して大丈夫なのか心配な人
 - ・家の購入に関するさまざまな疑問や不安を持っている人
- に対して、マイホーム購入計画を中心にライフプランの考え方を述べています。

この本を読み、家族みんなが幸せに生活するためのマイホーム購入のヒントにしていたければ幸いです。

本書のサポートページで、あなたの人生の三大資金「住宅資金」「教育資金」「老後の生活資金」に関するサポートツールをダウンロードすることができます。

【サポートページURL】 <http://www.cn-publishing.co.jp/support/100502>